Press Release

HITACHI

本件は、スイス・チューリッヒにおいて、
11 月 4 日に発表しました。

2026 年 11 月 5 日
日立エナジー

日立エナジー、ARC MarketMap の企業資産管理分野で「リーダー」に認定

- ARC アドバイザリグループが、企業資産管理 (EAM)システムの主要提供企業 16 社を評価
- 40 年以上にわたる EAM の技術革新と、設備を多く保有・運用する企業の業務に関する深い知見が評価



日立エナジーは、調査・提言会社である ARC アドバイザリグループ (以下、ARC)の調査レポート「ARC MarketMap for Enterprise Asset Management 2026」において、企業資産管理 (Enterprise Asset Management、以下、EAM)[*1] ソフトウェア分野の「リーダー」に認定されました。業界への深い知見、豊富な導入実績に加え、多くの設備を保有・運用する企業の重要業務を支えるソリューションへの継続的な投資が評価されたものです。

*1 企業資産管理 (Enterprise Asset Management: EAM): 重要な資産のための包括的なライフサイクル管理



ARCアドバイザリグループの「MarketMap for Enterprise Asset Management 2026」で「リーダー」に位置付けられた日立エナジー (赤丸で表示)

「ARC MarketMap for Enterprise Asset Management 2026」抜粋版
https://www.hitachienergy.company/G3j

ARC は同レポートで、「日立エナジーは、業界への深い知見、豊富な導入実績、製品・ソリューションの拡充・強化に向けた継続的な投資により、確固たる地位を確立。変圧器、変電所、高電圧設備に関する深い専門性を背景に、特に電力会社や送配電インフラ分野のニーズに高い適合性を有する。OT (制御・運用技術)の深い専門性と、デジタル技術による設備の状態把握・分析を組み合わせ、レジリエンスの強化、安定稼働、長期的なインフラの高度化を支援できる点が強み」と評価しています。

重要インフラの運用を支える EAM の専門性

電力会社や交通事業者など、多くの設備を保有・運用する企業にとって、EAM は設備のライフサイクル全体を管理する業務基盤です。設備の稼働開始から廃止まで、設備計画、運用、保全、作業の実施、ライフサイクルに関する意思決定をつなぎます。設備、作業、リソース、コストの情報を一元的に把握することで、設備の信頼性向上、運用や現場作業の効率化、ライフサイクルコストの最適化を支援するとともに、社会に不可欠なサービスの中断リスクを低減します。

日立エナジーのエンタープライズソフトウェアソリューション プロダクトグループ グローバルヘッドであるアンディ・ハウエルは、「当社は 40 年以上にわたり、社会を支える設備やインフラの保守現場の実情に即した EAM ソリューションを開発してきました。OT の専門性、業界への深い知見、確かな導入実績を併せ持つことが、日立エナジーの強みです。今回の ARC による認定は、すでにお客さまに提供している価値と、クラウド、データ、AI、戦略的な協業を通じて EAM をさらに進化させる当社の戦略の両方が評価されたものです」と述べています。

日立エナジーの EAM 製品群には、電力会社をはじめ、設備を多く保有・運用する産業向けの Ellipse EAM[*2] と、原子力発電事業者に特有の要件に対応する Asset Suite[*3] があります。

*2 Ellipse EAM：電力会社など、設備を多く保有・運用する産業向けの企業資産管理(EAM)ソリューション

*3 Asset Suite EAM：原子力発電事業者向けの企業資産管理(EAM)ソリューション

マイクロソフトとの戦略的協業による EAM の進化

日立エナジーは、これまで培ってきた EAM の基盤を生かし、マイクロソフトとの協業を通じて、次世代の設備管理を推進しています。本協業は、日立製作所とマイクロソフトの戦略的提携に基づくもので、ARC は重要な差別化要因と評価しています。

両社は、2026 年 1 月に発表した取り組み[*4] の一環として、日立エナジーの Ellipse EAM と設備やインフラの運用に関する深い知見に、マイクロソフトのクラウド、データ、生産性向上、AI の各技術を組み合わせます。この統合ソリューションでは、共通のデータ基盤を構築し、設備管理や業務のワークフロー全体にエージェント型 AI を適用します。これにより、ユーザーはデータから得られる知見をより的確な判断や対応に生かし、業務を効率化するとともに、重要インフラの安全性・信頼性・経済性を高めることができます。

*4 日立がマイクロソフトの AI 技術により設備管理ソリューションを刷新

マイクロソフトの製造・モビリティ部門 コーポレートバイスプレジデントであるダイアン・ロドリゲス氏は、「日立エナジーが、その実績にふさわしく EAM 分野のリーダーに認定されたことをお祝い申し上げます。EAM は、多くの設備を保有・運用する企業が重要な業務を継続し、増大する需要に対応するための基盤です。日立エナジーとの協業を通じて、両社の相互に補完する強みを組み合わせ、設備管理と運用管理の連携を強化します。これにより、ユーザーがデータを活用して適切なタイミングで意思決定し、継続的にパフォーマンスを向上できるよう支援します」と述べています。

ARC による EAM 提供企業の評価方法

ARC は、導入先のお客さまへのインタビュー、実演による機能確認、75 項目の質問票に対する提供企業の回答に基づき、EAM 提供企業を評価しました。評価項目には、技術力、導入・提供の品質、デジタル成熟度、技術革新のロードマップ、企業戦略との整合性、顧客満足度の指標が含まれます。同調査では、現時点で高い実績を上げ、明確な将来戦略を示すとともに、次の特長を備える企業を「リーダー」と定義しています。

- 確立されたソリューションの機能と成熟した技術基盤
- 安定した導入・提供の実行力
- 高い顧客満足度

1986 年に設立された ARC アドバイザリグループ[*5] は、産業用 AI、デジタルトランスフォーメーション、業務の高度化、サイバーセキュリティ、次世代の産業エコシステムを支える技術を専門とする、グローバルな調査・提言会社です。

*5 ARC アドバイザリグループについて

商標注記

会社名、製品名は、各社の商標、または登録商標です。

日立エナジーについて

日立エナジーは、現在そして今後 25 年間のエネルギー需要に応えるべく、電力の時代を支え、次の未来を切り拓くグローバルリーダーです。日立グループのエネルギー事業部門として、先進的かつミッションクリティカルな技術で、30 億人以上の人々の生活を支えています。当社は、100 年以上にわたるイノベーションを通じて、エネルギー分野の喫緊の課題に取り組んでいます。それは、現在、そして次世代のために、豊富で安全、経済的かつ持続可能な電力を確保するため、世界のエネルギーシステムの進化を推進することです。世界 140 カ国以上での豊富な導入実績を有し、電力、産業、データセンター、交通の各産業分野のお客さまと長期的なパートナーシップを築いています。スイスに本社を置き、60 カ国で 56,000 人以上の従業員を擁し、約 2 兆 4,000 億円の事業規模を有しています。

日立エナジー関連リンク

https://www.hitachienergy.com/jp/ja
https://www.linkedin.com/company/hitachienergy
https://x.com/HitachiEnergy

日立製作所について

日立は、IT、OT(制御・運用技術)、プロダクトを活用した社会イノベーション事業(SIB)を通じて、社会インフラをデジタルで革新し続けるグローバルリーダーをめざし、環境・幸福・経済成長が調和するハーモナイズドソサエティの実現に貢献します。デジタルシステム&サービス、エナジー、モビリティ、コネクティブインダストリーズの 4 セクターに加え、新たな成長事業を創出する戦略 SIB ビジネスユニットの事業体制でグローバルに事業を展開し、Lumada をコアとしてデータから価値を創出することで、お客さまと社会の課題を解決します。2025 年度(2026 年 3 月期)売上収益は 10 兆 5,867 億円、2026 年 3 月末時点で連結子会社は 606 社、全世界で約 29 万人の従業員を擁しています。詳しくは、www.hitachi.com/ja-jp/をご覧ください。